

## 令和 4 年度 乳幼児健康診査のあり方検討会 報告書

## 検討会の概要

## 【経緯・目的】

令和 3 年 8 月 5 日の保健衛生連絡会議にて、新潟市医師会より「新潟市における乳幼児健康診査のあり方検討委員会」の設置について要望があった。

要望の背景として、小児科医の減少と高齢化により、年々健診に従事する小児科医の確保が困難になってきていること、また、妊娠期からの切れ目ない子育て支援が必要であるが、市が実施している事業と、医療機関が実施する個別健診等の情報が共有されていないという課題が挙げられる。

本市の母子保健施策に関わる多方面の職種と乳幼児健康診査の課題を共有し、課題解決に向けた議論を行うことを目的として、あり方検討会を立ち上げることとした。

## 【委員】

佐藤 勇（医師） ※座長	医療法人よいこの小児科さとう 院長
廣川 徹（医師）	小児科廣川医院 院長
澤野 堅太郎（医師）	新潟大学医歯学総合病院研究科 小児科専任助教
大橋 伯（医師）	はまぐみ小児療育センター 小児科部長
池田 花子（助産師）	済生会新潟病院産科 看護師長
岩谷 雅子（医師）	保健衛生部医監
平澤 朋子（指導保育士）	こども未来部保育課 課長補佐
佐野 美智子（保健師）	東区役所健康福祉課 課長補佐
倉部 洋子（保健師）	南区役所健康福祉課 健康増進係長
オブザーバー	新潟市医師会事務局 各区健康福祉課 保健所健康増進課

## 【開催月日】

第 1 回 令和 4 年 7 月 13 日（水）

第 2 回 令和 4 年 11 月 17 日（木）

第 3 回 令和 5 年 3 月 8 日（水）

（時間：各回午後 7 時から午後 8 時 30 分）

## 検討会の成果

検討会での議論を経て、以下の成果を得ることができた。

### ①集団健診の必要性についての認識統一

メリットとデメリットを共有した上で、本市の1歳6か月児・3歳児健康診査を今後も集団健診で実施していくことが必要と確認した。

### ②診察医の確保

市内の病院勤務医や、健診に従事していない小児科医の協力についてアドバイスがあり、令和5年度から病院勤務医、市内大学所属の小児科医から従事の協力を得ることができた。

### ③健診の質の向上

診察のポイントなどについて、改めて診察医の認識統一を図るとともに、今後新規に従事する医師のオリエンテーション用として「診察の手引き」を作成した。

### ④診察医との連携充実

健診時、医師の診察前に事前情報を伝えることを徹底した。令和5年度からは、健診会場に精密健康診査の結果情報を用意し、診察医も確認できるようにする予定。

### ⑤「医療と保健の連携」に対する意識醸成

- ・ 母子の置かれている環境や健診に求められるものが時代とともに変化する中、行政の担当者だけで制度設計を行ってきた感のある健診事業について、今後は健診に関わるスタッフみんなで作り上げていこうという思いを共有することができた。
- ・ 市の母子保健の取り組みについて、検討会や健診従事医師への研修会を通じて、委員や小児科医の理解を深めることができた。
- ・ 一人ひとりの妊産婦、乳幼児家庭に寄り添う、本市の切れ目のない支援について、分かりやすくビジュアル化した。各区健康福祉課の連携会議等、さまざまな機会で活用している。

## 検討会からの提言～今後に向けて

- ・ 引き続き診察医の確保に努めるとともに、健診の効率化についても検討を進めてほしい
- ・ ホームページや案内通知の内容を工夫し、健診に対する意識の向上を図ってほしい
- ・ 地域一丸となって母子支援に取り組むため、医療と保健の連携をより一層進めてほしい